

## Medical Innovation by NCGM and Commons

### 開催レポート：第11回 海外医療機器の最新動向勉強会

2019年9月4日（水）、国立国際医療研究センター大会議室にて、MINCの会「第11回海外医療機器の最新動向勉強会」を開催いたしました。行政機関、病院/関係者、企業、医工連携関係者、43名の参加をいただきました。ご参加の皆さま、ありがとうございました。

#### ■ MINCの会 勉強会について

国立国際医療研究センターと日本医工ものづくりコモンズでは、2017年秋より、海外医療機器情報誌の日本語訳版「Medical Globe」（株式会社カワニシホールディングス発行）から最新の記事の抜粋を資料として、情報共有をおこなう勉強会を定期的に開催しています。

<http://www.kawanishi-md.co.jp/mg/index.asp>



#### ■ 第11回について

- 国立国際医療研究センター（NCGM）を代表して、センター病院 病院長の杉山温人先生から開会のご挨拶をいただきました。
- 医工連携に関わる行政・公的機関、経済産業省 医療・福祉機器産業室、厚生労働省 医療機器審査管理課、日本医療研究開発機構（AMED）、東京都産業労働局、製品評価技術基盤機構からご参加をいただきました。
- 勉強会のディスカッションでは、国立国際医療研究センター（NCGM）副院長・医工連携推進室長の丸岡 豊 先生（歯科・口腔外科）と東京医科大学の福田 尚司 先生（心臓血管外科）を座長に、また医薬品医療機器総合機構（PMDA）の望月 修一 先生と特許庁 審査第二部医療機器（治療機器）の小野 孝朗様のお二人をコメンテーターとしてお迎えし、議論をおこないました。
- 記事については、原 久男 先生（循環器内科）、稲垣 剛志 先生（総合診療科）、桂川 陽三 先生（整形外科）に講師としてご参加いただき、専門医のお立場から症例や国内の現状の説明とともに、海外の最新医療機器についてコメントをいただき、参加者の皆さまとディスカッションをおこないました。



勉強会の様子



#### 参加者からの声

- ✓フォローアップがあることは大変良いと思います。また毎回先生方の中立的もしくは辛口のコメントが非常に参考になります。
- ✓医師、PMDA、特許庁、メーカー等各分野の専門家が一堂に会したディスカッションは、聞いているだけでレギュレーションや開発をおこなううえでのポイントが理解できます。
- ✓機器の解説も勉強になるが、医師の先生方の疾患解説が大変勉強になってありがたい。

#### ディスカッション記事

- 【循環器】ロチェスター工科大学の研究者がうっ血性心不全を検出できる便座を開発
- 【総合診療】Kurin社の皮膚常在菌の混入を防ぐ血液培養検体採取デバイスKurin
- 【整形】北京大学の研究者が 部位特異的な構造を持つ人工半月板の作製に成功
- 【歯科】プラークを除去できるマイクロロボットCARsを米大学の研究者が開発

#### 記事紹介

- Signum社の低侵襲な痔ろう治療用インプラントBioHealx
- PAVmed社の生体吸収性の中耳炎治療用鼓膜チューブDisappEAR

#### ◇ 事務局より

第12回勉強会は、2019年12月4日（水）18時より、国立国際医療研究センター 大会議室にて開催いたします。